



高輪だより

平成31年度4月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

入園・進級おめでとうございます

園長 柿沼 敦子

園庭に咲く花々が、輝く陽を浴びて春風に揺れています。お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。いよいよ高輪幼稚園の新年度が始まりました。

高輪幼稚園の教育目標は、

『やさしく、かしこく、たくましく、伸びる高輪の子』です。

高輪幼稚園は、昭和50年に開園し、今年は44年目を迎えます。都会にありながら園歌にあるように緑の葉が光り、揺れ、樹木や草花の豊かな「みどりの高輪幼稚園」です。幼稚園は、学校教育の第一歩であり、幼児期に培われる力は、生涯を通して生きるために必要な力です。遊びは、大切な学びであり、小学校以降の生活や学習の基盤をつくっていきます。幼児が園庭の樹木のようにしっかりと育つために、主体的で体験的な活動を積み重ね、生きる力の根っこを育てていきます。

毎日子どもたちが、心を「わくわく」させて、「幼稚園が大好き！」「先生や友達がいる楽しい！」と園生活を楽しみ、心が「ぽかぽか」になる温かい人とのかかわりの中で、伸び伸びと自分らしさを発揮しながら成長し、大人も子どもも「みんなが笑顔」で過ごしていく幼稚園を目指します。

新元号「令和」に改元される日が近づいています。どんな時代になるのでしょうか。どんな時代になったとしても、「夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する人」（港区教育ビジョン・目指す人間像）となるよう、一人ひとりの子どもに寄り添い、健やかな成長を願い、保護者、地域の皆様とともに子育ての楽しさを味わっていただけるよう、教職員一同、全力で教育の充実に努めて参ります。皆様のご協力とご支援をよろしく願いいたします。

巣立った年長児が作った修了製作



4月初めに満開となったサクラ



カキ、モミジ、夏ミカンなどの樹木
(園庭を平らにする工事を春休み中に行いました。)